

備前市 事務事業評価表

事務事業名	和気北部衛生施設組合負担金事業	コード	01-01-14-14
		担当課・係	環境課・衛生係
		担当者	森本和成
		電話	64-1821
事業実施期間	昭和41年度～		
総合計画 事業（政策）体系	大項目(基本目標)	安全で快適に暮らせるまちづくり	
	中項目(基本施策)	生活しやすいまちづくり	
	小項目(施策)	ごみ処理	

事業について	
目的 (何のために)	市が加入している和気北部衛生施設組合のごみ収集・処理経費、福祉バス運行経費及び和気鶴岡谷温泉建設による公債費に係る分担金の納付
対象 (誰・何を対象に)	ごみ（一般廃棄物）の処理を必要とする日生地域の市民・市内事業者。 ごみ（一般廃棄物）の収集・処理を必要とする吉永地域の市民・市内事業者。
内容	和気北部衛生施設組合分担金の納付

事業の結果			
実施項目	17年度 回数など (単位)	18年度 回数など (単位)	回数など (単位)
ごみ負担金(日生地域分)	48,873 円	39,925 円	
ごみ負担金(吉永地域分)	39,224 円	33,505 円	
ごみ処理量(日生地域分)	1,995 t	1,925 t	
ごみ収集・処理量(吉永地域分)	1,167 t	1,179 t	
バス運行(吉永地域分)	3,864 円	3,149 円	
事業費 (単位：千円)	事業費	財源	事業費
	直接事業費 91,961	国庫補助金等	直接事業費 76,579
	人件費 235	受益者負担	人件費 225
	市債	市債	市債
合計	92,196	一般財源等 92,196	合計 76,804
合計	0	一般財源等 0	合計 0

必要人員	0.05 人	0.05 人	
結果指標	結果指標名	ごみ処理量(日生地域分)	ごみ処理量(日生地域分)
結果指標	結果指標量	1,995	1,925
結果指標	単位	t	t
結果指標	対前年比	—	96.49%
結果指標	活動にかかるコスト	円	円
結果指標	単位当たりコスト	円	円
結果指標	結果指標名	ごみ収集・処理量(吉永地域分)	ごみ収集・処理量(吉永地域分)
結果指標	結果指標量	1,167	1,179
結果指標	単位	t	t
結果指標	対前年比	—	101.03%
結果指標	活動にかかるコスト	円	円
結果指標	単位当たりコスト	円	円

事業の成果			
どのような成果を得ようとしているか	組合が前年度実績をもとに、負担金額を決定している。		
成果指標名	1人当たり(日生地域+吉永地域)の負担額	式又は説明	負担金額÷(日生地域+吉永地域)の人口
成果指標	17年度	18年度	
成果指標	6,746 円	5,706 円	
成果指標	—	84.58%	0.00%
到達目標値		到達目標年度	

事業の目的、対象、内容を考えながら目的の妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

事務事業の評価		(平成18年度事業)		
目的・対象・内容の妥当性評価	目的の妥当性	<input type="checkbox"/> 関係法令等で目的が定められており妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化しつつある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である (関係法令等： )	妥当性評価<A~E>	C
	対象の妥当性	<input type="checkbox"/> 受益者の拡大を検討する余地がある <input type="checkbox"/> 受益者の縮小を検討する余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の対象者は妥当である	課題認識	和気北部衛生施設組合は、備前市、赤磐市、和気郡和気町をもって組織されており、ごみ処理施設、斎場及び和気鶴岡谷温泉の運営を行っている。ごみ処理については、日生地域、吉永地域のごみを焼却している。
	市民ニーズの妥当性	<input type="checkbox"/> 市民、団体などから要望・要請のある事業である <input type="checkbox"/> 市民に概ね好評な事業である <input checked="" type="checkbox"/> 公共秩序の維持、行政の適正運営に必要な事業である		
	市の関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 国・県又は関係法令で定められている事業である <input type="checkbox"/> 民間に類似サービスがある <input checked="" type="checkbox"/> 本市が関与すべき事業である <input checked="" type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の影響は大である		
コストの効率化	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは増加傾向にある <input type="checkbox"/> コスト削減の努力をしている <input type="checkbox"/> できる限り民間活力を利用している <input type="checkbox"/> 受益者負担額は適正である	効率性評価<A~E>		
有効性の評価	手段の最適化	<input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で確認・見直しを行っている <input checked="" type="checkbox"/> 他に有効な代替手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 事業は他部署と密接な連絡調整を行っている	課題認識	和気北部衛生施設組合規約により、ごみ処理施設の運営費、福祉バスの運行経費及び和気鶴岡谷温泉の建設費の負担金・分担金を納付する。
	職場の効率化	<input type="checkbox"/> 事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている <input type="checkbox"/> 事業に関するOJT(職場研修)は行われている <input type="checkbox"/> 事業の進行管理を定期的に行っている <input type="checkbox"/> 事業実施について職員の意見・要望が反映されやすい		
市民参画度	目的達成度	<input type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input checked="" type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している	有効性評価<A~E>	
	成果向上の可能性	<input type="checkbox"/> 成果は向上しており今後も向上する見込みである <input type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある <input type="checkbox"/> 事業について積極的に情報提供している <input type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている	課題認識	

平成19年度の状況	<input type="checkbox"/> 重点化している <input checked="" type="checkbox"/> 前年度と同様に継続している <input type="checkbox"/> 見直し継続している <input type="checkbox"/> 事業を縮小している	<input type="checkbox"/> 休止している <input type="checkbox"/> 他の事業と統合している <input checked="" type="checkbox"/> 平成18年度で廃止・完了	説明	備前市は、和気北部衛生施設組合に加入しており、施設の運営費、建設費の負担金、分担金を納付しなければならない。
-----------	---	---	----	--

目標値	結果指標量	結果指標量
成果指標量		

総合評価	前年度のごみの量により負担金が決定されるため、ごみの減量化に努める必要がある。	評価区分<A~E>	C
------	---	-----------	---

平成20年度以降の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する) <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input checked="" type="checkbox"/> 平成19年度で廃止・完了 <input type="checkbox"/> 他の事業と統合を検討する
--------------	---	---

平成20年度以降の改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果